

収れん火災について - 西日本防災システム

みなさんは**収れん火災**をご存知ですか

凸レンズ状の透明な物体や凹面鏡状の反射物などによって太陽光が一点に集中され可燃物が発火し火災に至る現象です。

火災発生原因の中では割合は大きくないのですが、見逃すことは出来ない要因です。

火災事例

出火日時 : 平成19年8月

出火場所 : 福岡市南区 某所

人的被害 : なし

物的被害 : ウッドデッキ 焼損 その他少量焼損

原因 : ウッドデッキのテーブルに置かれた水の入ったペットボトルがレンズとなり
テーブルに置かれた可燃物が出火し、火災に至ったと思われます。

そのほか駐車場に置かれたアルミホイールにより収れんされた太陽光での火災も報告されています。

車のフロントガラスに貼られた透明な吸盤からの発火や 猫よけや犬よけのために置かれたペットボトルによるものもあります。金魚鉢や鏡なども原因となっていますので、私達の日常生活の中にはたくさんの収れん火災の要因があると思ってください。

対策 : 収れん火災は太陽光が引き金となりますので真夏が危ない季節だと思わがちですが、冬場でも発生しますのでご注意ください。

レンズや凹面鏡の役割を果たす可能性があるものは直射日光の当たらない場所に置いたり、外出時には必ずカーテンを閉める等の対策を講じてください。

太陽光 ご注意ください！



西日本防災システム

NISHINIHON BOHSAI SYSTEM Co., Ltd

<http://www.nbs119.co.jp/>



弊社top pageへ

